



学校だより 12月号

つきっ子



令和7年11月29日発行
東秩父村立槻川小学校

植松努氏のロケット教室 ～子供たちに教えてくれたこと～

11月8日(土)の東秩父中学校で開催された開校50周年記念講演では、本校5・6年生も参加し、株式会社植松電機の植松努様の講演を拝聴しました。子供たちは、ロケット開発という「夢」を追い続ける植松さんのお話に真剣に耳を傾け、自らの手でロケットを製作し、大空高く打ち上げました。この体験は、子供たちにとって、まさに「夢に向かって輝く」ための貴重な学びとなりました。

「どうせ無理」は可能性を奪う言葉

植松さんは、「どうせ無理」という言葉が、どれだけ人の自信や可能性を奪ってしまうかを熱心に説かれました。「どうせ無理」と言われても、「好きなこと」を諦めず、独学で技術を身につけ、ついには JAXA と共同でロケットを開発するまでに至りました。子供たちは、植松さんの実体験に基づいた力強いメッセージを受け取り、「夢を諦めないことの大切さ」について、肌で感じ取ったようでした。

自らの手で夢を形にし、空へ

1年生から4年生も参加して行われたロケット製作と打ち上げでは、子供たちの目が一層輝きました。植松さんから「作り方は教えません。」「分からなければ、周りを見て、真似て、聞いて、教え合えばいい。」という言葉をいただき、大人の手を借りず、設計図を見ながら友だちと協力してどんどん部品を組み立てていきました。そして全員がロケットを完成させ、グラウンドでの打ち上げに臨みました。

カウントダウンの後、轟音とともに自作のロケットが空高く舞い上がった瞬間、大きな歓声が湧き上がりました。自分が作ったものが実際に空を飛ぶという達成感と感動は、何物にも代えがたい経験となったはずです。この体験は、子供たちの自尊感情や問題解決能力を高める上で、非常に効果的だったと感じています。

未来を担う子どもたちへ

このロケット教室を通して、子供たちは「夢は語るもの」「類は友を呼ぶ」と言わない」といった、植松さんの大切なメッセージを心に刻みました。

私たち教職員も子供たちに「だったらこうしてみたら?」と前向きな声かけと共に、失敗を恐れず挑戦できる環境作りを工夫してまいります。

ご家庭でもぜひ、お子様と一緒に今回の体験で感じたことや、将来の夢について話し合ってみてください。子供たちが自らの可能性を信じ、夢に向かって輝き続けることを願っています。



観小ダイアリー

10/28 3年生みかん園「見晴園」

久しぶりのみかん園見学が実現しました。収穫体験とともに、美味しいみかんをたくさんいただき、改めて村の自慢の農産物について知ることができました。



10/30・31 6年生 修学旅行 鎌倉・箱根方面

鶴岡八幡宮を見学後、新江ノ島水族館まで班毎に立てた計画に沿って、子供たちだけで行動しました。チェックポイントで待っていると、安堵と共に自信で輝く笑顔を見せてくれました。小学校生活のかけがえのない思い出ができたことと思います。



11/18 5年生 TBS 出前授業

TBS 新人アナウンサーが進行する中、5年生が報道番組の制作を通して「情報」について学びました。一人一人が自分の役割（カメラ、中継、お天気、アナウンサー、ADなど）を担当し、番組を作り上げました。中には、将来アナウンサーになりたい！との思いを抱いた子もいました。



11/19 6年生 西部北地区音楽会

東松山市民文化センターのホールで、11人が心をこめて「マイバラード」を発表しました。他校と比べると少人数ながら、美しいハーモニーを披露し、指導者の先生からも高い評価の言葉をいただきました！



12月の行事予定

日	曜	行 事
12/1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
～		
1/7	水	
8	木	
9	金	

登下校時の防寒着について

厳しい寒さが予想されますので、登下校時のみの使用で、以下の通りお願いします。

- ・手袋
- ・ネックウォーマー又はマフラー
- ・耳あて 等

安全上リスクのあるものもあります。使用に当たっては、お子様に注意喚起を行ったうえで、保護者の判断により着用させてください。